



## 東京PCB廃棄物処理事業だより (No.12)

### 新年ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

本年、当事業所は開業3年目を迎えます。この間、地域住民や関係者の方々にはご心配をおかけいたしました。施設の安全体制についてはほぼ確立できたと考えております。

しかしながら、安定操業や稼働率の向上という点についてはまだ期待にこたえるまでには至っておりません。

日本におけるPCB廃棄物の処理は、30年以上にわたって着手することができず、前例のない化学処理による事業であるだけに、現在においてもいくつか課題を抱えている状況にあります。

これらを解決していくには、私たちが地域住民の方に不安感を与えないことを最優先としつつ、発生する事実をしっかりと見、衆知を集めて解決し、実績を積み重ねる以外に途はないと考えています。

困難な事業ではありますが、一刻もはやく安定操業を達成し、日本における「20世紀の負の遺産」を取り除くことができるよう、事業所一同より一層の努力を続けてまいりますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成20年1月

東京事業所長 太田 政信

### 東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

東京PCB廃棄物処理施設の10月～12月の間の受入処理実績と操業開始からの処理累計は下記のとおりです。

高濃度PCB廃棄物については、10月に、定期点検時に見つけられた水熱分解設備関係の不具合箇所の補修工事を実施し、その間液処理設備を停止いたしました。

低濃度PCB廃棄物（柱上トランス絶縁油）については、12月中旬に処理量累計として総計画処理量の1/5の2,200klを達成し、順調に進捗しております。

#### 高濃度PCB廃棄物

|       | 平成19年度（10月～12月） |                    | 平成19年12月末現在<br>累計処理台数 |
|-------|-----------------|--------------------|-----------------------|
|       | 受入台数            | 処理台数 <sup>*1</sup> |                       |
| トランス  | 42台             | 21台                | 150台                  |
| コンデンサ | 444台            | 243台               | 1,166台                |
| 安定器等  | 0個              | 1,950個             | 11,814個               |

\*1 高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。  
安定器については樹脂型安定器のみ処理をいたしました。

#### 低濃度PCB廃棄物（柱上トランス絶縁油）

|           | 平成19年度（10月～12月） |       | 平成19年12月末現在<br>累計処理量 |
|-----------|-----------------|-------|----------------------|
|           | 受入量             | 処理量   |                      |
| 柱上トランス絶縁油 | 478kl           | 492kl | 2,293kl              |

### 東京スーパーエコタウンシンポジウムについて

東京スーパーエコタウン協議会<sup>\*</sup>では、東京都の共催、環境省・経済産業省の後援により、東京スーパーエコタウン事業の成果を広く情報発信し、事業者や都民の方々のリサイクル意識の向上と、高度な廃棄物処理技術の普及を図るため平成19年11月2日（金）に東京国際フォーラムにてシンポジウムを開催いたしました。

東京スーパーエコタウン事業は首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、東京都が国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めているものです。

当事業所も東京スーパーエコタウン協議会の一員であり、当事業所から発生をする有価物の一部は、域内の事業者に取り入れられ、資源化をされています。

当日は、環境省廃棄物・リサイクル対策部 由田部長、慶応大学経済学部 細田教授による基調講演と行政、事業者及び学識経験者代表によるパネルディスカッションが行われ、盛況のうちに終了し

たしました。

廃棄物の適正処理・3R\*\*における日本の拠点としての東京スーパーエコタウン事業の役割の重要性とともにPCB廃棄物処理に対する期待の大きさを改めて感じました。

\*東京スーパーエコタウン協議会・スーパーエコタウン内の8事業者が相互に協力連携し、事業効果の向上を図ることを目的に設置

\*\*3R・環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードでReduce（リデュース：廃棄物の発生抑制）  
Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の頭文字をとった言葉



由田部長基調講演



細田教授基調講演



パネルディスカッション

## 東京PCB廃棄物処理施設見学受入状況について

当施設では毎週火曜日と木曜日に施設を公開しております。  
10月～12月の間には476名の方にご見学をいただき、開業以来約3800名の方にご見学をいただいております。

11月15日（木）には参議院環境委員会委員の川田龍平議員にもご視察いただきました。

今後もよりたくさんの方の見学者の方を受け入れ、PCB廃棄物処理の緊急性及び必要性について情報を発信してまいります。  
施設見学についての詳細はHPにてご案内しております。

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/facility/tour.html>



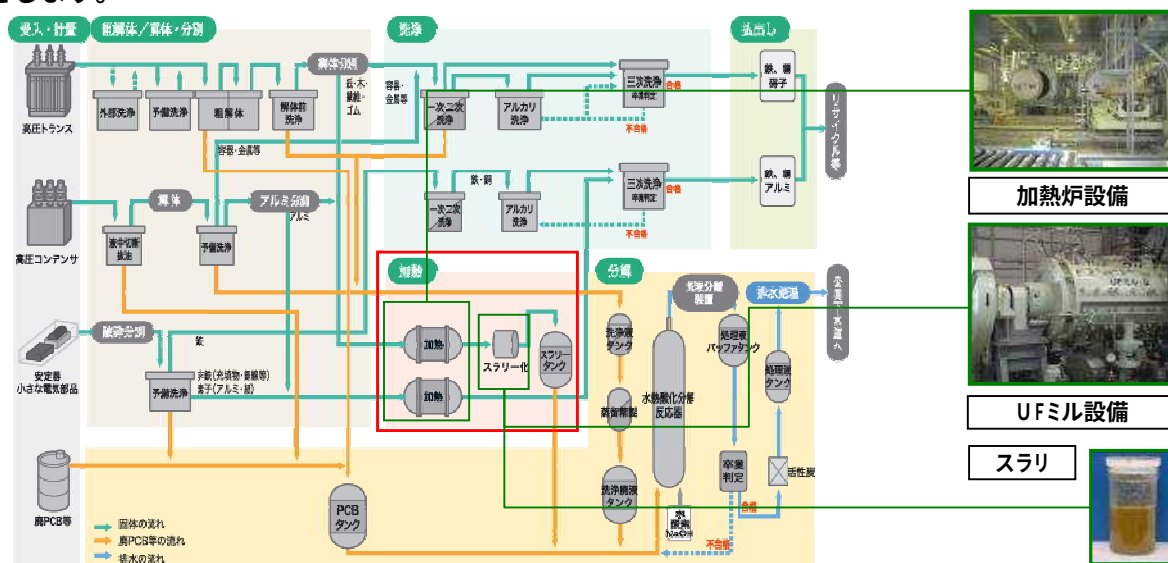
川田龍平議員ご視察

## 東京PCB廃棄物処理施設の紹介⑥<前処理設備-3-加熱設備>

トランスやコンデンサ等のコアを構成する紙や木は、加熱炉において真空状態で加熱することにより、浸み込んだPCBを蒸発させ除去するとともに、炭化することで脆くします。

炭化された紙や木はUFミル（微粉碎機）においてミクロン単位まで粉碎し、スラリと呼ばれる泥状にして水熱酸化分解装置へ送られ処理をします。

加熱処理により蒸発したPCBは凝縮器で回収し、他のPCB液と合わせ水熱酸化分解工程にて処理をします。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所  
〒135-0064 江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）  
TEL 03-3599-6023 <http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>